

「上海のデジタル革新(DX)の実情とメディアへの影響」を 聴く

2020年12月3日



経済広報センターは、12月3日、東京・大手町の経団連会館で、上海市人民政府新聞弁公室の協力を得て、上海におけるデジタル技術の社会実装の最新動向やメディア活動への影響をめぐり意見交換を行う交流会をオンラインで開催した。

上海社会科学院の元副院長で中国国家先端シンクタンク「中国マクロ経済運行研究」研究チーム首席専門家の張兆安氏と、上海商米科技有限公司(Sunmi)の海外営業担当副総裁の孟小杰氏、上海報業集團の外事責任者の夏俊氏、上海メディア各社の記者らが出席。日本からは、双日総合研究所、帝人、日本電機工業会、パナソニック、日立製作所、みずほ銀行、三菱電機、明治安田総合研究所の幹部らが参加した。

張氏は、中国政府が推進する「ニューエコノミー」の上海における発展状況やそれに向けた上海市の政策、制度的サポートについて解説。上海では、これまでもオンラインによる“経済の新形態”が進んできたが、新型コロナウイルスの影響で流れが加速していると述べた。また、孟氏は、新型コロナによる社会の変化として「オンラインとオフラインの融合」や「モノとサービスの融合」「さまざまな生活シーンにおけるテクノロジー活用」の加速を挙げた。夏氏は、2大メディアグループが合併して2013年に設立された自社を例に、モバイルインターネット時代におけるマスメディアの業態変化について紹介した。

経済広報センターは、上海市人民対外友好協会および上海市人民政府新聞弁公室と協力関係にあり、2013年より毎年、上海メディア関係者の日本招聘や日本企業の上海訪問を実施し、上海市との交流に取り組んでいる。新型コロナの影響により両国間の往来が困難となった今年度は、交流事業をオンラインで開催した。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。